

IV 個別の指導計画（年間目標）

平成21年度 個別の指導計画（年間目標）

児童（生徒）氏名 ○○部○年○組 ○○ ○○

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画の支援目標（学部卒業段階）をさらに具体化する。教育的ニーズと実態を総合的にとらえて、1年後に達成可能な目標を2～3記入する。</li> <li>・目標の修正や付け加えが必要な場合はこの欄に記入する。</li> <li>・「～できる。」と児童生徒側の立場で記入する。</li> <li>・児童生徒の生活全般から長期目標を設定する。くらす、働く（活動する）、楽しむの観点を考慮する。</li> <li>・3月には年間目標が達成されたかを記号（◎、○、△）で評価する。</li> </ul>	評価
<p>形態</p> <p>1 領域別の指導</p>	<p>年間目標</p> <p>再設定</p> <p>（自立活動）                      障害や発達段階等の実態と自立活動の内容の両方から適切な目標に迫るようにする。</p> <p>・気持ちが切り換えられる活動や楽しい活動を見つける。                      自立活動の内容 2－（1）（2）                      関連する主な場面 朝の活動、生単、休み時間</p> <p>波線部の指導の形態に目標を反映させる。</p> <p>・予定の確認ができるように、活動とサイン（シンボルマーク、絵カード等）の関係を理解する。                      自立活動の内容 4－（5）                      関連する主な場面 国数、自立活動（月～金2）                      （別紙学習目標作成）</p> <p>※学校生活全体を通じた配慮事項                      ・教師は快、不快の感情のサインを注意深く観察する。                      ・友達に誘ってもらい、一緒に行動する場面を設定する。                      ・睡眠時間や体調の確認をする。</p> <p>前期評価</p> <p>・児童生徒の様子や変容の経過などを記入する。</p> <p>※年間目標の訂正が必要であれば再設定する。その際関連する部分も追記・変更する。</p>	<p>評価</p> <p>3月に記入</p> <p>◎</p> <p>○</p> <p>※前期評価後変更した配慮事項を記入</p> <p>後期評価</p> <p>・児童生徒の様子や変容の経過などを記入する。</p> <p>●次年度の目標設定に参考となる課題や実態を記入</p>
<p>2 合わせた指導</p>	<p>（日生）</p> <p>1～3に関して</p> <p>・個別の教育支援計画と個別の指導計画を関連付け、整合性のあるものとして作成する。</p> <p>・できるだけ年間目標（教育的ニーズ）の達成を目指した目標を設定する。</p> <p>・指導形態ごと・項目ごと（舎）に「1年後これだけは必ずできるようになってほしい。」目標を1～3に絞り込む。</p> <p>&lt;作成の手順&gt;</p> <p>①保護者面談（4月～5月）                      ②学級担任が全体の年間目標を立案                      ③指導担当（学・舎）が教科等の年間目標を立案                      ④学級担任がとりまとめ（5月）</p> <p>（生単）</p> <p>⑤学部、棟で検討                      ⑥年間目標・生活目標の立案                      ⑦保護者、寄宿舍担当に配付（5月中）</p> <p>・保護者面談の際の資料とする。</p>	<p>評価</p> <p>・3月に目標が達成されたかを記号（◎、○、△）で評価する。</p> <p>・必要に応じて目標は常に見直し再設定した場合はこの欄に変更月日をつけて記入する。</p> <p>・目標の修正や付け加えが必要な場合はこの欄に記入する。</p>
<p>3 教科別の指導</p>	<p>（国語）</p> <p>・目標は評価できる行動目標（目に見える、数えられる、聞こえる）の設定を心がける。</p> <p>（数学）</p> <p>意欲的→自分から準備する                      持続力→40分続けて作業する                      社会性→学部の教師にあいさつできる</p>	

(職業)	自立する→～できる かかわりを増やす→道具の貸し借りができる。等 ・「～できる。」と児童生徒側の立場で記入する。			
		(音楽)		
		(美術)		
		(保体)		
4 寄宿舎 生活の様子	( ) ※項目は児童生徒に応じて担当者が設定する。寄宿舎の記入欄は裏面とする。 ( )			

作成・評価者 学級担任 ○○○○

寄宿舎担当者 ○○ ○○

- 【評価】
- ◎ほとんどの場面でできる（次の目標を設定する）
  - できるときと、できないときがある（継続、または一部目標や手立ての変更をする）
  - △できないときが多く、目標の見直しが必要である（目標の下方修正、または手立ての変更をする）